

- 中長期的な担い手の確保、行き過ぎた価格競争の是正、地域のインフラメンテナンスや維持管理、発注者のマンパワー不足、受発注者の負担軽減等の課題に対応するため、多様な入札契約方式の導入・活用を推進。
- 上記課題に対応して、現時点で想定される多様な入札契約方式の体系を、議論のたたき台として提示するもの。
- 発注者は、事業の性格や地域の特性等に応じて、多様な入札契約方式から適当な方式を選択。
- 透明性、公正性、必要かつ十分な競争性の確保のための方策を検討。

選抜方法

競争性のある方式

技術を評価して価格等を交渉する方式

- **技術提案競争・交渉方式(仮称)**：技術的難易度が高く、民間の知恵とノウハウの最大限の活用と併せ、対話により受発注者が柔軟に調整を進めることが適当な場合公募により最も優れた技術を有する企業を選定し、当該企業と優先的に工法や価格等について交渉を行った上で契約する方式

技術と価格を評価する方式

- **総合評価落札方式**：工期、機能、安全性などの価格以外の要素と価格とを総合的に評価して落札者を決定する方式
 - 国交省の直轄事業においては、発注者が示す仕様に基づき、適切で確実な施工を行う能力を評価する方式(施工能力の評価を行うタイプ)と、施工能力に加え、構造上の工夫や特殊な施工方法等を含む高度な技術提案を求めて評価する方式(技術提案の評価を行うタイプ)の2タイプがある。

価格のみを評価する方式

：定型的な工事でロットが小さく、施工力、技術力等による評価が困難なもの

- **価格のみを評価する一般競争入札**：公告により不特定多数の者を誘引し申し込みした者で価格競争を行わせ、落札者と契約する方式
- **価格のみを評価する指名競争入札**：発注者が指名した企業間で価格競争を行わせ、落札者と契約する方式

※段階的に選抜する方式

：受発注者の事務量の軽減のため、段階的に選抜する方式

- ・第一段階として、技術のみを評価して競争参加者を絞り込む方式
 - ・第二段階として、技術と価格を評価して落札者を決定する方式
 - ※技術提案に基づき競争参加者を数者に絞り込んだ後に対話を行って仕様を決定し、その後、競争参加者に価格等に基づく競争を行って契約の相手方を決定する競争的対話方式がある。
 - ・第二段階として、価格のみを評価して落札者を決定する方式
 - ※工事ごとに入札参加意欲を確認し、当該工事の施工に係る技術的な特性等を把握するための簡易な技術提案の提出を求めた上で指名を行う方式(公募型指名競争方式)がある。

評価のあり方

中長期的な公共工事の品質確保のため施工力・技術力の維持向上に資する観点からの評価の充実

- 例) ○ **若手技術者等の評価**：若手技術者・技能者の活用・確保状況等について評価
 - **地域企業の実績等の評価**：本店所在地、地域貢献(防災協定の加入状況等)の実績等を評価
- ※評価にあたっては、受発注者の負担についても留意

競争性のない方式

- **随意契約(非競争型)**：競争入札によらないで任意の企業と契約する方式

契約対象範囲

事業プロセスの範囲

- **設計施工分離方式**：設計と施工を分離して契約する方式。
※さらに工事を細分化して契約する方式(分離発注)もある。
- **設計施工一括方式**：設計と工事を一括して契約する方式。
デザインビルド方式。
- **ECI(Early Contractor Involvement)**：計画・設計の早期段階から工事業者等が参画し、施工性の検討を進めること。

工事の発注単位の範囲

- **複数年契約**：複数年にわたって実施する契約
- **複数工種・工区等一括契約(仮称)**：地域の実情に応じ、関連性のある複数の工種や工区、巡回・清掃・除草などをまとめて対象にする契約

CM方式

：コンストラクションマネージャー(CMR)が、技術的な中立性を保ちつつ発注者の側に立って、設計・発注・施工の各段階において、設計の検討や工事発注方式の検討、工程管理、品質管理、コスト管理などの各種のマネジメント業務の全部又は一部を行う方式

- ・ピュア型
- ・アットリスク型
- ・ピュア・アットリスク併用型

請負代金の支払額の決め方

- **総価契約**：契約時に請負代金を確定しておき、契約書に示された設計図書の変更事由が生じた場合、請負代金の変更を行うという契約
 - ・総価契約単価合意方式：総価で請け負い、代金変更がある場合の算定のための単価等を前もって協議・合意し、設計変更や部分払に伴う協議の円滑化を図ることを目的として実施する契約方式。国交省の直轄事業で実施。
- **単価・数量精算契約**：工事材料等について単価を契約で定め、予定の施工数量に基づいて概算の請負代金を計算して契約し、工事完成後に実際に用いた数量と約定単価をもとに請負代金を確定する契約
- **コスト+フィー方式**：工事の実費(コスト)を実費精算とし、これにあらかじめ合意された報酬(フィー)を加算して支払う契約方式

請負代金の支払プロセス

- **オープンブック方式**：工事費用を施工者に支払う過程において、支払金額とその対価の公正さを明らかにするため、施工者が発注者にすべてのコストに関する情報を開示し、発注者又は第三者が監査を行う方式

多様な入札契約方式の中から適切な手法を選択し、組み合わせることによって、中長期的な公共工事の品質確保が可能

- 例) ○ **地域維持型契約方式**：地域的的確な維持管理や災害対応等の担い手を中長期的に確保していくため、複数年の契約や複数工種・工区の一括契約、巡回・清掃・除草の包括契約、地域精通度の高い建設企業等の共同受注などを可能とする方式

○ **経営事項審査、競争参加資格審査、総合評価等の入札手続段階で、中長期的な公共事業の品質確保のための施工力・技術力の維持向上の観点からの評価等の見直し**を検討するとともに、債務負担行為のより一層の有効活用等を通じた発注の平準化のための方策、より効果的なダンピング防止策等も検討。

○ **受発注者の負担軽減のための方策**、発注体制を整備できない発注者に対する支援のあり方についても検討。

○ **公共工事の品質確保の促進に関する法律(平成17年法律第18号)の体系に多様な入札契約方式を位置付けることを検討するとともに、位置づける手法(法令、基本方針等)についてさらに検討。**その上で、各発注者に適切かつ円滑に活用されるよう、国において技術的助言として運用方針の策定等を行っていく方向。